

◆対象となる方は？

市内にお住いの40歳以上で、自宅で生活をされており、かつ認知症が疑われる方や認知症の方で、次の□のいずれかに該当する方

- 認知症疾患の診断をうけていない
- 認知症疾患の臨床診断を受けたが、医療サービス、介護サービスを受けていない、または中断している
- 何らかのサービスは受けているが、認知症による症状が強く、どのように対応したらよいかわからない



◆認知症初期集中支援チームってどんなことをしてくれるの？



電話やウェブサイトで相談を受けます。



医療福祉の専門職のチーム員がご自宅を訪問し、お話や様子を伺います。



認知症予防や早期受診などできることを一緒に考えていきます。



おおむね6か月を目安に必要な医療や介護サービスなどにつなげていきます。



本人や家族の心のサポートも行います。



ケアマネジャーなどの関係者やかかりつけ医との連携も行っています。



◆どうして「早めの対応」が必要なの？

- 認知症状がある場合、早期に受診し治療を開始したり適切な対応をすることで、住みなれた地域でそのひとらしい充実した暮らしを続けることができるようになります。
- 家族や周りの方も、ステップを踏みながら症状を受け止め、症状に合った対応をしていくことができるようになります。



◆太郎さんの場合・・・◆

ひとり暮らし

ケアマネジャーから「会話が噛み合わないことが多くなった」「時々怒りっぽくなるため対応に困る」とに初期集中支援チームに相談があり、ご自宅を訪問し面談したところ、早期の診断が必要とみてご本人に受診を勧めました。

はじめは受診を拒まれたが、ご本人の思いに耳を傾け、受診の不安等を伺い、受診することのメリットなどを改めてお伝えすることで、ご本人も納得され受診することができました。

その後

怒りっぽさが次第になくなり、対応に困ることがなくなりました。



◆相談の流れ

おおむね3～6か月
※ケースによって期間は異なります

地域包括支援センター
ケアマネジャー等
医療および介護従事者



認知症かな？



ご本人

認知症かな？



ご家族・ご友人・同僚の方など

相談

相談

訪問

認知症初期集中支援センター
あんず

相談

地域のクリニック
ご本人の主治医



総合病院・精神科病院・
認知症疾患医療センター



介護関係事業所等



医療または介護サービスにつなげるころまでをお手伝い

◆花子さんの場合・・・◆

ご家族と同居

ご家族から「骨折をしてからあまり外出しなくなりテレビばかり見ている」「以前に比べ物忘れがひどくなったように思う」と認知症初期集中支援チームに相談があり、ご自宅を訪問しご本人、ご家族と面談。デイサービスの利用を提案しましたが最初は希望されず、何度も訪問を重ね、「行きたくない」という言葉の裏にある不安や戸惑いの気持ちを受け止めることで、デイサービスへの利用を希望されケアマネジャーにつなぎ、利用することができました。

その後

当初は不安がっていたご本人でしたが徐々に慣れて、デイサービスの利用日を心待ちにするようになりました。

